



クラスタ間ピア

1つ以上の外部 Cisco Unified Presence クラスタ(ピア)を関連付けることにより、複数の Cisco Unified Presence クラスタ間でインスタントメッセージとプレゼンスステータスを送受信できるようになります。

クラスタ間ピアの検索

ネットワークに複数のクラスタ間ピアが存在する可能性があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件で特定のクラスタ間ピアを検索することができます。特定のクラスタ間ピアを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中、クライアントマシンの cookie により、検索/一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻るか、ブラウザを閉じてから新しいブラウザウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence の検索の設定がシステムで維持されます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Presence] > [クラスタ間設定] の順に選択します。

[クラスタ間ピアの検索と一覧表示 (Find and List Intercluster Peers)] ウィンドウが表示されます。アクティブ (優先) クエリーのレコードもウィンドウに表示される場合があります。

ステップ 2 データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 3](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- 最初のドロップダウンリストボックスから検索パラメータを選択します。
- 2番目のドロップダウンリストボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。



(注) 対象のレコードの隣にあるチェックボックスをオンにしてから [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックしてから [選択項目の削除] をクリックすると、この選択で設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されるレコードのリストから、表示対象となるレコードのリンクをクリックします。



(注) ソート順序を逆にするには、必要に応じて、リストのヘッダーにある上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.20-4 の「[関連項目](#)」を参照してください。

クラスタ間ピアの設定

この項では、Cisco Unified Presence データベースでクラスタ間ピアを追加または更新する方法について説明します。

手順

ステップ 1 次のいずれかのタスクを実行します。

クラスタ間ピアを追加するには、[Cisco Unified Presence] > [クラスタ間設定] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。

- クラスタ間ピアを更新するには、P.20-1 の「クラスタ間ピアの検索」の手順に従ってクラスタ間ピアを検索します。

[クラスタ間ピア設定 (Intercluster Peer Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 表 20-1 の説明に従って適切な設定を入力します。

ステップ 3 データを保存するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします)。

追加情報

P.20-4 の「関連項目」を参照してください。

クラスタ間ピア設定の設定値

表 20-1 で、クラスタ間ピア設定の設定値について説明します。関連する手順については、P.20-4 の「関連項目」を参照してください。

表 20-1 クラスタ間ピア設定の設定値

フィールド	説明
ピアアドレス	ピアの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
ユーザ名	関連付けられている Cisco Unified Presence ピアの [アプリケーションユーザ (Application User)] のユーザ名を入力します。
パスワード	関連付けられている Cisco Unified Presence ピアの [アプリケーションユーザ (Application User)] のパスワードを入力します。
パスワードの確認	関連付けられている Cisco Unified Presence ピアの [アプリケーションユーザ (Application User)] のパスワードを再入力します。
強制同期	[強制同期] をクリックすると、Cisco Unified Presence をこのピアと強制的にデータ同期します。
	 <p>(注) このボタンは、クラスタ間ピアの正常な作成後にのみ表示されます。</p>

クラスタ間ピアの削除

この項では、クラスタ間ピアを削除する方法について説明します。

手順

-
- ステップ 1** P.20-1 の「[クラスタ間ピアの検索](#)」の手順に従いクラスタ間ピアを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するクラスタ間ピアを選択します。
- ステップ 3** クラスタ間ピアを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [選択項目の削除] アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される [選択項目の削除] ボタンをクリックします）。

クラスタ間ピアが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。クラスタ間ピアが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

追加情報

P.20-4 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [クラスタ間ピアの検索 \(P.20-1\)](#)
- [クラスタ間ピアの設定 \(P.20-3\)](#)
- [クラスタ間ピア設定の設定値 \(P.20-3\)](#)
- [クラスタ間ピアの削除 \(P.20-4\)](#)